

銚子の魅力を
発信するちょよ!



のI♡銚子

第58回

「ロクの家」誰でも堂々と来てほしい

宮内 博史さんの巻

ギャラリー? シェアハウス?
最近話題の「ロクの家」を作った芸術家を直撃だちよ。

「ボランティアをしてるわけじゃない、街の声に触れて、それを絵にしたんです。どつどお気軽に遊びに来てください。例えば、不登校やうつ、発達障害はその人なりの正常な反応のほうです。社会が「おかしい」ことにしているだけ。僕も、うつでADHD(注意欠如・多動症。発達障害の一種)で不眠。面倒くさい性質だけど恥ずかずくはなりたい」

宮内博史さんは銚子で創作活動を続ける画家。昨年5月に元民宿だった

建物を自ら改装し「ロクの家」をオープンした。ロクの家は、アトリエを備えた多目的空間。開始から約半年、3組の芸術家が滞在し、8回の個展、5回のワークショップが行われた。1時間以上かけて来る人や「作ってくれてありがとう」「銚子を出るのをやめた」という声など予想以上の反響に宮内さんも驚く。

「うれしい。やってよかった」
銚子商業を卒業後、大学で絵画を学んだ。卒業後は宮大工修業をはじめ美

術以外の仕事も経験したが長くは続かなかった。「お前なんか何やってんだめだ」と何人にも言われ、土下座させられたこともある。

「今となってはどれもやってよかったけど二度とやらない」

鳥取市に滞在して絵画制作をしていたとき「まだ見えていない美術や知らない世界がある」と渡欧を決意。たどり着いたのは世界中から若者や芸術家が集まるドイツ・ライプツィヒ。空き家を子育てや芸術のために利活用する動きが盛んな町だ。

宮内さんが身を寄せたNPO「日本の家」もそのひとつ。名前は発足当初のメンバーにたまたま日本人が多かったことから。みんなで食事を作って食べる活動「ごはんの会」では、人種も宗教も違う、言葉も通じない約80か国の人と過ごし、大学教授や泥棒、アルコール中毒者、難民の若者などそれ

まで接したことがないような人と文字どおり同じ釜の飯を食べた。世界の問題を肌で感じたこの経験が今のロクの家を活かされている。

「プロのサポートはできないけど、例えば来てくれた人とただチェスをやるとかコミュニケーションをとることで社会を支えられるんじゃないかと思う」

最近気になるのは、子どもと絵を描くと「この色ここに塗っていい?」と何十回も聞かれること。「僕の絵は自由じゃない」「僕の命は自由じゃない」に聞こえるからだ。日本は若者の自殺率が世界一高い。

「子育て中の皆さん、子どもを産み育てるのは本当にすごいこと。心から尊敬します。だからこそ愛情たっぷりの子たちが、将来追いつめられる可能性が世界一だなんて嫌でなりません」
もちろん、正月から絶望的な気分にしたくないではない。

「つまり受けた身を取れたほうがいいでしょう? ロクの家では人と話したくなければ黙っていてもいいので、堂々と来てほしい」
宮内さんは近々市内にもう1軒、子どもが利用しやすい多目的空間を作る予定だ。

今月号の表紙は宮内さんの作品。
ロクの家の次回展示は9日からだちよ。



Photo by 仁禮洋志

▲宮内博史さん。空き家を改装したオルタナティブスペース「ロクの家」の前で。ロクの家は基本夜にオープンする

▼宮内さんたちがCafe Sui(新生町)に作ったモバイルハウス「スイスイ」。「ヨーゼフ・ボイスが提唱した社会彫刻のつもりです」



ロクの家 大橋町15-5

☎ 水・土曜日 18時~22時
✉ hello@6haus.com



ロクの家 夜のギャラリー

ひさし 有馬尚史 映像作品「wool」

羊の生きる時間を描いた17分の映像作品。換気と消毒をしながら繰り返し上映します

▶会期 1/9、13、16、20、23、27、30 (水曜日と土曜日)

駐車場は鈴木青果店舗斜め向かいの駐車場をご好意で使用させていただいています。



人のうごき 令和2年12月1日現在 人口 59,174人(-68人) うち外国人住民人口 2,304人
男 28,726人(-21人) 女 30,448人(-47人) 世帯 27,160世帯(+4世帯) ※カッコは前月比
令和2年11月中の人口動態 出生 20人 死亡 73人 転入など 126人 転出など 141人

広報ちようし

令和3年1月号第1228号 令和3年1月1日発行

発行/銚子市 編集/秘書広報課

〒288-8601 銚子市若宮町1-1

☎0479 (24) 8181 (代表)

HP <http://www.city.choshi.chiba.jp/>

広報ちようしは、読みやすわかりやすいデザインの使用しています。

「UD(ユニバーサルデザイン)フオント」を使用しています。